

2016年5月24日

トランスペアレンシー・ジャパン主催セミナー  
ロンドン腐敗対策サミット、G7伊勢志摩サミット開催記念  
世界からワイロをなくす読書会・金融業界編  
「所有者情報開示の法執行とデューデリジェンス」

汚職・腐敗防止活動を行うNPOトランスペアレンシー・ジャパン(TI-J)は、6月1日にセミナーを行います。第一部では、英国が主催する世界初の腐敗対策サミットとG7伊勢志摩サミットの報告を外務省と英国大使館から頂きます。第二部では実質的所有者情報開示の法執行とデューデリジェンスについて解説します。

多国籍に展開する金融機関や特定事業者、その他国際取引の多い企業の法務・CSR部門の方の参加をお待ちしております。

#### 背景

2014年のブリスベンサミットで首脳たちが金融の情報公開を最優先課題とし、マネーロンダリング対策等のため「実質的所有者情報の透明性を高めるためのG20原則」を策定しました。こうした国際的な要請を受け、日本は昨年犯罪収益防止法を改正しました。日本の履行状況と国際比較、金融機関の取り組みをご紹介します。

#### テキスト

TI-Jでは、トランスペアレンシー・インターナショナルの金融の清廉性啓発資金を得て、各国の取り組みを比較した『アンチ・マネーロンダリング：実質的所有者の開示に向けたG20の取り組み』という報告書を4月に発行いたします。また、3月に贈収賄リスクを減らすためのガイダンスとして名高い『贈収賄リスク診断』をPwC東京合同会社の資金援助で翻訳出版したのでご紹介します。

#### 概要

日時 2016年6月1日(水) 13時30分—17時半  
会場 英国大使館ニューホール(千代田区一番町1)  
主催 NPO法人トランスペアレンシー・ジャパン  
後援 国際NGOトランスペアレンシー・インターナショナル(略称TI、本部ベルリン)  
対象 金融機関やその他特定事業者の外国との取引のある企業法務・CSR部門の方  
参加費 無料  
定員 80名(お申込み多数の場合は金融機関、特定事業者を優先に先着順)  
登録方法 トランスペアレンシー・ジャパン宛てにメールで申込み [information@ti-j.org](mailto:information@ti-j.org)  
言語 日本語(一部英語、逐次通訳または日本語資料あり)  
プログラム 別紙

特定非営利活動法人トランスペアレンシー・ジャパン(TI-J)  
理事長 若林亜紀

〒141-0021 東京都品川区北品川一丁目9番7-1015号

電話、FAX: 03-3445-9364

E-mail [information@ti-j.org](mailto:information@ti-j.org) URL [www.ti-j.org](http://www.ti-j.org)

トランスペアレンシー・ジャパン主催シンポジウム  
「世界からワイロをなくす読書会」金融業界編  
「所有者情報開示の法執行とデューデリジェンス」  
Transparency international Japan to host a seminar on  
Anti-corruption and business integrity on beneficial ownership transparency

- 13:00-13:30 受付 ・大使館正門で身分証とお名前の確認、セキュリティチェック  
・会場入口でお名刺を2枚頂戴し、資料と同時通訳機器をお渡しします
- 13:30-13:35 開会挨拶 トランスペアレンシー・ジャパン 理事長 若林亜紀  
Opening remarks by Ms Aki Wakabayashi, Chair, TI- J
- 13:35-13:50 開会挨拶及び英国サミットの報告\* 英国大使館参事官 ダンカン・スパークス  
Opening remarks and the report of the UK anticorruption summit \*  
By Mr. Duncan Sparkes, Counsellor, British Embassy
- 13:50-13:55 参事官への質疑
- 13:55-14:10 G7 及び G20 における腐敗対策  
外務省総合外交政策局国際安全・治安対策協力室 室長 宮本新吾  
Anti-corruption in the G7 and G20 by Mr. Shingo Miyamoto,  
International Safety and Security Cooperation Division,  
Foreign Policy Bureau, Ministry of Foreign Affairs
- 14:10-14:15 室長への質疑
- 15:20-14:50 『贈収賄リスク診断ーリスクを減らすガイダンス』 \*  
PwC アドバイザリー合同会社 ホンマシン  
“Diagnosing Bribery Risk” \*  
By Mr. Shin Honma, Director, PwC Advisory LLC
- 14:50-14:55 Q&A with Mr. Honma
- 休憩  
Tea break
- 15:10-15:40 実質的所有者の公開義務状況解説  
TI-J 顧問 ベーカー&マッケンジー法律事務所弁護士 西垣建剛  
law and enforcement of the Beneficial ownership transparency in Japan  
by Mr. Kengo Nishigaki, TI-J advisor, lawyer with Baker & Mackenzie
- 15:40-15:50 実質的所有者情報開示の国際トレンドと歴史、未来  
林信毅 TI-J個人会員  
History of BO and the future  
By Mr. Nobuki Hayashi, TI-J individual member
- 15:50-16:05 所有者情報のデューデリジェンス 三菱東京UFJ銀行国際市場コンプライアンス部

マネーロンダリング対策室チーフアドバイザー 中雄大輔

Customer Due Diligence in Banking: The challenge in due diligence  
UBOs, by Mr. Daisuke Nakao, Chief Advisor, global compliance  
division, bank of Tokyo Mitsubishi

16:05-16:20 中雄氏への質疑

16:20-16:30 2015年のTI活動報告及び世界腐敗対策会議報告

TI-J理事 森濱田松本法律事務所弁護士 池田毅

Transparency international and

The International Anti-corruption conference

Tsuyoshi Ikeda, TI-J board, lawyer, Mori-Hamata Matsumoto law firm

16:30-17:00 質疑応答

Q&A, Discussion with panellists and the participants

17:00-17:30 懇親会

Reception

17:30

閉会の辞 TI-J 理事長 若林

Closing Remarks

\* 言語は英語だが、スパークス参事官とホンマ氏講演は英語で同時通訳つき  
simultaneous interpretation

使用資料 『見かけだけ？ G20諸国の実質的所有者の透明性確保の取り組み』

トランスペアレンシー・インターナショナル編著 2016年5月発行

『贈収賄リスク診断』トランスペアレンシー・インターナショナルUK編著 2016年3月発行

当日冊子をお配りします。

トランスペアレンシー・ジャパンのサイトからダウンロードもできます。

<http://www.ti-j.org/activity.html>

以上